

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 23名（平成31年3月31日現在）、延利用日数5,238日																							
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">収入</th> <th style="text-align: right;">支出</th> <th style="text-align: right;">収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉事業活動 121,016千円</td> <td>福祉事業活動 119,726千円</td> <td rowspan="8" style="text-align: right; vertical-align: middle;">0千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 85,780千円</td> <td>人件費 83,175千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自加算 31,105千円</td> <td>事務費 12,746千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 0千円</td> <td>事業費 8,595千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 0千円</td> <td>拠点区分間繰入金 15,210千円</td> </tr> <tr> <td>その他 4,131千円</td> <td>施設整備等 1,290千円</td> </tr> <tr> <td>合計 121,016千円</td> <td>合計 121,016千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</td> </tr> </tbody> </table>	収入	支出	収支差額	福祉事業活動 121,016千円	福祉事業活動 119,726千円	0千円	給付費 85,780千円	人件費 83,175千円	川崎市独自加算 31,105千円	事務費 12,746千円	指定管理委託料 0千円	事業費 8,595千円	拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 15,210千円	その他 4,131千円	施設整備等 1,290千円	合計 121,016千円	合計 121,016千円	※端数処理のため合計が一致しないことがあります。				
収入	支出	収支差額																						
福祉事業活動 121,016千円	福祉事業活動 119,726千円	0千円																						
給付費 85,780千円	人件費 83,175千円																							
川崎市独自加算 31,105千円	事務費 12,746千円																							
指定管理委託料 0千円	事業費 8,595千円																							
拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 15,210千円																							
その他 4,131千円	施設整備等 1,290千円																							
合計 121,016千円	合計 121,016千円																							
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の策定について、年度末の策定から誕生月での策定に変更し、最新情報を踏まえたより個別性の高い計画の作成、ニーズに沿った支援の提供を実施することができた。また年度末に集中していた業務が各月に分散したことで、多忙な年度末でも質の高いサービス水準を維持することができ、またカンファレンスでも丁寧な検討を行うことができた。 ・日課や支援内容の見直しに取り組み、これまで午前中のみ実施していた個別活動を午後にも実施することで、個別活動の回数を確保した。 ・集団活動の各種プログラムについて、レクリエーション・芸術系活動・運動系活動等、利用者の希望や反応を確認しながら計画的に実施し、利用者が楽しめる時間を作った。新たにストレッチやビーナッツパルーンのプログラムも新しく取り入れ、利用者のニーズを捉えた集団活動プログラムを提供した。 																							

3. 評価（評価段階：5～1、標準：3、加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
（評価の理由） ・養護学校卒業生1名の利用開始にあたっては、事前の丁寧なアセスメントで個別支援計画を策定し、受け入れた。また、れいんぼう川崎のりハ医・PTの助言を受けながら身体機能に合わせた支援を行った。 ・利用者の障害の重度化、利用者自身や家族の高齢化が進む中、住み慣れた地域での安定した在宅生活を維持できるよう、家族の声を丁寧に吸い上げながら支援を積極的に行い、関係機関と連携・調整を行った。 ・家庭環境の問題や利用者の健康問題が原因で、年度途中での施設入所や長期でのショートステイ利用があったが、在宅生活維持のための相談支援を積極的に行ったことで、目標稼働率を達成した。 ・祝祭日を平日同様の体制で運営しており、生活リズムの維持と介護の軽減につながり、利用者・家族から高い評価を得ている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			

	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入については、入退院を繰り返すケースや、日中の医療や訪問サービス、短期入所の利用をされる方の増加によって利用率は上がらない状況だったが、可能な限り利用実績維持と安定収入に努め、目標稼働率を達成した。 ・支出については、老朽化施設のため空調設備等の不具合や故障が生じる場面もあったが、緊急性と優先順位を考えて計画的に修繕し、多額な支出とならないように努め、予算内で執行を行った。 ・法人の経理規程に則り適正に金銭管理を行った。法人内部監査にて指摘があった印鑑の取り扱いについては、指摘に基づいて適正に対応した。 				
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	5	5
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の策定期間を改め、利用者の誕生日での策定とその6か月後のモニタリングに変更した。業務の集中を避けじっくりと計画策定に携わることができ、より総合的かつ的確にニーズを捉えた個別性の高い支援計画を策定できた。 ・各種集団活動と並行して別途個別活動を実施するなど、日課の工夫を行うことで個別活動回数の確保に努め、一人当たりの個別活動回数の増加につなげた。また、それによって時間の余裕が生まれたことで、余裕を持って取り組みたいスヌーズレンの時間を多くとれるようになった。 ・満足度調査や利用者の会・家族会等、意見収集のため多様な方法を用意しており、利用者の希望に合わせたプログラムや外出先を採用する等、サービス内容・職員への信頼感について高い評価を得られている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会研修について、薬品・食品メーカーの協力のもと、食についての研修を実施した。日頃の家庭での食事への疑問の解決や負担の軽減につなげた。また、現場ですぐに活かせる介護技術や知識、コミュニケーションスキルの習得や、運営上配置が必要な資格取得のための講義を受講した。 ・大きな事故につながる可能性のある小さな気づきをヒヤリハットとして積極的に挙げる習慣が定着しており、事故防止につなげている。事故が起きた際には月1回の事故検証会議にて都度確認し、再発防止に努めている。 ・様々な災害を想定した避難訓練を計画的に行っており、また「老人いこいの家」との合同避難訓練も実施した。H30年度は施設独自のBCP計画を策定し、利用者の非常食として利用者の嚙下機能に合った高カロリーゼリーも新たに加えるなど、災害時の備えを強化した。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4

(評価の理由)

・施設、設備の保守管理については、総合管理委託によって計画的に実施されている。また、施設の老朽化と利用者の重度化が進む中で、空調設備等利用者の生活に大きく影響を及ぼす施設不備については、計画的に着実に修繕を実施している。

4. 総合評価

評価点合計	78	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・利用者家族を対象とした食習慣調査を行い、食生活の確認・改善をすることで家族の食・栄養・健康に対する意識を向上させ、利用者の健康的な生活の構築につなげるなど、家族を含めた在宅生活の維持に向けた支援を行うことにより、利用者・家族それぞれから生活のよりどころとして信頼されていることが見て取れる。

・毎月「かじがや通信」を発行し、季節ごとのダイジェスト版の掲示を近隣商店に依頼したり、花壇の整備等に取り組んでいる。また、ボランティアによる演奏会や人形劇には、近隣住民や保育園にも案内をして、利用者を含めた「地域の催し」とすることで地域に根差した施設づくりに取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--